

大正天皇の后

貞明皇后展

—むげに幼かりしほど—

位みける里のことども

思い出でて—

むげに幼かりしほど

位みける里のことども

思い出でて—

思い出でて—

節子

わがわがの御母さま

下りて来られたり

くらやみおぼえ

むげに幼かりしほど

位みける里のことども

思い出でて—

思い出でて—

思い出でて—

会期 令和5年(2023) 10月21日(土) ~ 12月10日(日)



杉並区立郷土博物館
Suginami Historical Museum

〒168-0061 東京都杉並区大宮1-20-8 TEL.03-3317-0841
<https://www.city.suginami.tokyo.jp/histmus/index.html>



大正天皇の后 貞明皇后展

令和5年(2023)
10月21日(土)～
12月10日(日)

—むげに幼かりしほど 住みける里のことども 思い出でて—

大正天皇の后である貞明皇后(1884～1951)は、公爵九條道孝の四女として生まれ、生後7日日から明治21年(1888)11月までの約5年間を、東京府東多摩郡高円寺村(現・杉並区高円寺北)の大河原金藏・てい夫妻のもとで、里子として育てられました。

明治33年(1900)の御成婚後は、宮中で初めて一夫一婦制を確立し迪宮裕仁親王(昭和天皇)、淳宮雍仁親王(秩父宮)、光宮宣仁親王(高松宮)、澄宮崇仁親王(三笠宮)の四人の皇子をもうけました。また、蚕糸事業の奨励、灯台守への支援などの社会事業にも尽力しました。

本展では、貞明皇后と杉並との関わりに焦点を当てるとともに、大正天皇病氣平癒のための祈祷が行われた大乘寺から当館に寄贈された貞明皇后ゆかりの品などを展示します。



伝貞明皇后装束
当館蔵



▲貞明皇后お形見品の胡蝶舞人形
大河原家蔵



▲貞明皇后デザインのボンボニエール
(貝桶形流水菊花葵文)
個人蔵



▲宝石御筆箱(貞明皇后遺品)
國學院大學博物館蔵

講演会

「貞明皇后とその時代」

小田部 雄次 氏
(静岡福祉大学名誉教授) 定員100名

[日時]11月11日(土) 14:00～16:00

[会場]セシオン杉並 展示室
(杉並区梅里1-22-32)

申込方法

東京共同電子申請・届出サービスより申込または往復はがきに「11月11日講演会参加希望」、氏名(ふりがな)、年齢、住所、電話番号を記入。10月26日(木)必着。1通につき1名。

お申し込みはこちらから▼



「皇室の玉手箱

—貞明皇后とボンボニエール—

長佐古 美奈子 氏
(学習院大学史料館学芸員) 定員50名

[日時]11月25日(土) 14:00～16:00

[会場]本館視聴覚室

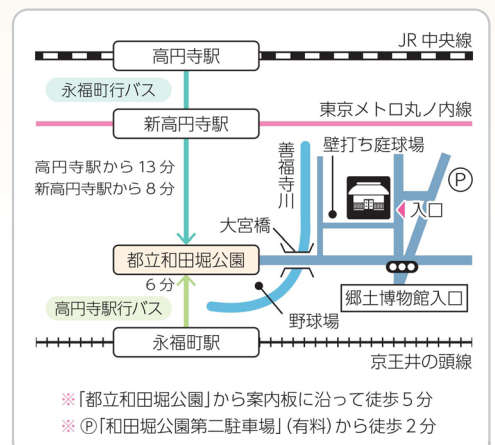
申込方法

東京共同電子申請・届出サービスより申込または往復はがきに「11月25日講演会参加希望」、氏名(ふりがな)、年齢、住所、電話番号を記入。11月9日(木)必着。1通につき1名。

お申し込みはこちらから▼



●展示解説 [日時]10月28日(土)14:00～/12月2日(土)14:00～ [会場]本館特別展示室



交通案内

- 京王井の頭線「永福町」駅北口から徒歩15分、又は「高円寺駅」行きバスで「都立和田堀公園」下車徒歩5分
- JR中央線「高円寺」駅南口・東京メトロ丸ノ内線「新高円寺」駅から「永福町」行きバスで「都立和田堀公園」下車徒歩5分

 **杉並区立郷土博物館**
Suginami Historical Museum

開館時間：午前9時～午後5時

休館日：毎週月曜日・毎月第3木曜日(祝日と重なった場合は開館し、翌日が休館日)

観覧料：[本館]100円(20名以上の団体は1人80円) ※中学生以下、障害者手帳を提示する方およびその付き添いの方は無料

〒168-0061 東京都杉並区大宮1-20-8 TEL:03-3317-0841

<https://www.city.suginami.tokyo.jp/histmus/index.html>

